

平成23年6月15日

会員各位

社団法人東北経済連合会
環境資源エネルギー委員会
委員長 林 光 男

節電のご協力について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より東経連の活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの「東日本大震災」により被害を受けられました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。東経連といたしましても、被災地域の復旧、復興に向けて全力で取り組んでいるところでございます。

さて、東日本大震災により、東北電力管内の発電所等の設備に甚大な被害が発生しており、夏場の電力不足が想定されています。こうした中、政府においては電力制約が震災からの復興と日本経済の再出発の妨げとなることのないよう企業、家庭とも昨年比で一律15%を削減する目標が示されており、国をあげた節電運動の取り組みが必要となっております。

こうした中、会員各位におかれましては、この難局を乗り越えるため、本節電運動の趣旨をご理解いただき、工場や事業所をはじめご家庭におきまして、別添の節電対策をご参考に取り組みを進められますようご協力をお願いいたします。なお、以下に経済産業省および東北電力のホームページをご参考までにお知らせいたします。

敬具

(ホームページアドレス)

- | | |
|----------------|---|
| 1. 経済産業省ホームページ | http://www.enecho.meti.go.jp/ |
| 2. 東北電力ホームページ | http://www.tohoku-epco.co.jp/ |

(添付資料)

1. 夏期節電対策の具体例

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10
東北経済連合会 事務局 有原

TEL 022-799-2103 FAX 022-262-7062



夏期節電対策の具体例

●夏期節電対策の実施期間	<u>7月1日(金)～9月9日(金)</u>
●夏期節電対策の実施時間	<u>午前9時～午後8時</u>
●夏期節電対策の政府目標	<u>前年度比15%削減</u>

1. 製造業(工場)

- (1) 操業日、操業時間を分散する「輪番操業」の実施
 - ①製造ラインの稼働時間を夜間に移動
 - ②複数社共同で操業日、操業時間をずらして稼働
 - ③ラインの定期検査・修繕による停止時間帯を電力ピーク時に実施
- (2) 夏期休業の設定および分散化
- (3) 省エネ設備の導入(電力監視装置、自家発電設備、太陽光発電 etc)

2. 営業部門(卸・小売、食品スーパー、飲食店、ホテル、旅館等)

(注) 節電効果：建物全体の消費電力に対する節電効果の割合の目安(資源エネルギー庁 HP より)

(1) 共通

①エレベーターやエスカレーターの稼働を半減または停止する。
②従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。
③日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれの活用。
④使用していないエリアは消灯を徹底する。
⑤使用していないエリアは空調を停止する。

(2) 卸・小売店(食品スーパーを除く)

<節電効果>

①店舗の照明を半分程度間引きする。	13%
②店舗の室内温度を28℃とする。	4%
	(+2℃の場合)
③業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースを消灯する。	1%

(3) 食品スーパー

<節電効果>

①店舗の照明を半分程度間引きする。	11%
②業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースを消灯する。	5%
③店舗の室内温度を28℃とする。	1%
	(+2℃の場合)

(4) 飲食店

<節電効果>

①使用していないエリアや看板、外部照明等の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	40%
②店舗の室内温度を28℃とする。	8%
	(+2℃の場合)
③冷凍冷蔵庫内は詰め込み過ぎず、温度調節等を実施する。	3%

(5) ホテル・旅館

<節電効果>

①客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	13%
②ロビー、廊下等の室内温度を28℃とする。	1% (+2℃の場合)
③使用していないエリアの空調を停止する。	1%

3. オフィス (執務室、会議室等)

<節電効果>

①執務エリアの照明を半分程度間引きする。	13%
②室内温度を28℃とする。	4% (+2℃の場合)
③使用していないエリア (廊下等含む) の消灯を徹底する。	3%
④長時間離席するときは、OA機器の電源をオフにする。	3%
⑤使用していないエリアの空調を停止する。	2%
⑥日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれの活用。	3%
⑦昼休みなどは完全消灯を心掛ける。	
⑧エレベーターやエスカレーターの稼働を半減または停止する。	
⑨従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。	

4. 家庭

<節電効果>

①エアコンを消して、扇風機を使用する。	50%
②室内温度を28℃に設定する。	10% (+2℃の場合)
③すだれや緑のカーテン等で遮光・遮熱対策を実施。	10%
④冷蔵庫の設定を「強」から「中」にし、扉の開閉時間を減らす。	2%
⑤日中は消灯し、夜間も照明をできるだけ減らす。	5%
⑥リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。テレビを省エネモードに設定し画面の輝度を下げる。	2%
⑦炊飯は早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存する。	2%
⑧長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%
⑨東北電力の「電気ご使用実績照会サービス」の活用 (東北電力HP)	

以上

(参考) 東経連事務局での、夏期における節電の主な取り組み

1. クールビズの実施と室内設定温度28℃の徹底
2. 事務室内の照明の部分消灯と照明の間引き
3. 昼休みの完全消灯
4. パソコンの省エネモード設定
5. プリンターやコピー機の使用台数の減
6. 夏期ピーク期間における事務所の全面閉鎖 (8/1~8/5の5日間)
7. 夏期ピーク期間における夏季休暇の取得推進 (7/20~8/31)
8. 事務局職員の家庭での節電の実施